

2001 年秋季年会

# 年会プログラム

於 イーグレひめじ  
姫路市市民会館

2001 年 10 月 4 日 (木) ~ 10 月 6 日 (土)

日本天文学会

<年会プログラムは、取り外せます。>

# 日本天文学会 2001 年秋季年会プログラム

場 所 第 1 会場：イーグレひめじ 第 2 会場：市民会館（案内図参照）  
 姫路市本町 68-177 姫路市本町 112  
 電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2001 年 10 月 3 日（水）～ 10 月 7 日（日）>

## 日 程

月日	会場	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
10月3日 (水)							記者会見					
10月4日 (木)	A	R. 銀 河		昼 休 み	ポ ス タ ー	R. 銀 河		ALMA 特 別 セ ッ シ ョ ン				
	B	P. 星・惑星				P. 星・惑星						
	C	N. 恒 星				N. 恒 星						
	D	W. 飛翔観				W. 飛翔観						
	E	T. 銀河団				T. 銀河団/V. 地上観						
	F	X. 情報/K. 天力				B. ブラックホール						
10月5日 (金)	A	R. 銀 河		(評 議 員 会) 昼 休 み	ポ ス タ ー	S. 銀河核		総 会	懇 親 会			
	B	P. 星・惑星/Q. 星 間				Q. 星 間						
	C	N. 恒 星				L. 太陽系						
	D	W. 飛翔観/A. 突発天体				A. 突発天体						
	E	V. 地上観				V. 地上観						
	F	M. 太 陽				M. 太 陽						
10月6日 (土)	A	S. 銀河核		(理 事 会) 昼 休 み	ポ ス タ ー	天文教育 フォーラム		ジ ュ ニ ア セ ッ シ ョ ン				
	B	Q. 星間/Y. 教育				スーパーSINET 特別セッション						
	C	U. 宇宙論										
	D	A. 突発天体										
	E	V. 地上観										
	F	M. 太 陽										
10月7日 (日)							公開講演会 (一般対象)					

- |      |                   |          |                   |
|------|-------------------|----------|-------------------|
| A 会場 | : イーグレひめじ (3F)    | 受 付      | : イーグレひめじ (地下 1F) |
| B 会場 | : イーグレひめじ (地下 1F) | ポスター会場 I | : イーグレひめじ (地下 1F) |
| C 会場 | : イーグレひめじ (地下 1F) | ” II     | : イーグレひめじ (地下 1F) |
| D 会場 | : イーグレひめじ (4F)    | 総 会 会 場  | : E 会場            |
| E 会場 | : 市民会館 (3F)       | 懇 親 会 場  | : A 会場            |
| F 会場 | : 市民会館 (4F)       | 会 議 室    | : イーグレひめじ (4F)    |

## ◎講演数・参加費用

講演数 : 合計 521

(口頭講演 (a) : 307、ポスター講演 (b) : 163、ポスター講演 (c) : 51)

基本登録料 : 会員 3,000 円、非会員 5,000 円 (1 講演分の講演登録料を含む)

追加講演登録料 : 3,000 円 (追加 1 講演につき)

年会予稿集 : 2,000 円 (購入希望者のみ)

※基本登録料・追加講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

## ◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 6 会場で併行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。名前の直前に○印のある著者が講演者です。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3 日間掲示できます。ポスターは縦 180 × 横 90 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、10 月 4 日の 9:00 から 10 月 6 日の 15:00 まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP をご使用下さい。(ビデオ、液晶プロジェクターの使用については、事前に申し込みが必要です。)

## ◎会期中の行事

1. 記者会見 : 3 日 (水) 13:30 ~ 会議室  
学会講演の中から、3 ~ 4 のトピックスを選び、記者会見を行います。
2. ALMA 特別セッション : 4 日 (木) 17:00 ~ 19:00 A 会場
3. 評議員会 : 5 日 (金) 12:00 ~ 13:00 会議室
4. 総会 : 5 日 (金) 16:30 ~ 18:00 E 会場  
主な議題 = ○ 2002 年度事業計画案  
○ 2002 年度収支予算案  
○ 「会費に関する細則」変更の承認  
○ 新評議員の承認
5. 懇親会 : 5 日 (金) 18:30 ~ A 会場
6. 理事会 : 6 日 (土) 12:00 ~ 13:00 会議室
7. 天文教育フォーラム : 6 日 (土) 14:00 ~ 15:30 A 会場
8. スーパー SINET 特セッション : 6 日 (土) 14:00 ~ 15:30 B 会場
9. ジュニアセッション : 6 日 (土) 15:30 ~ 17:00 A 会場
10. 公開講演会 : 7 日 (日) 13:00 ~ 16:00 A 会場

## ◎ ALMA 特別セッション「ALMA で探る宇宙-銀河の形成と進化-

主催： 日本学術会議 天文学研究連絡委員会、日本天文学会  
国立天文台電波専門委員会 ALMA 計画推進小委員会

日時・場所：2001年10月4日(木) 17:00～19:00 A会場(イーグレひめじ 3F:多目的ホール)

概要：ALMA (Atacama Large Millimeter/submillimeter Array、アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計)計画は、日本・北アメリカ・ヨーロッパの三極による共同建設・共同運用をめざして、現在各極の予算確保に向けた最終段階にあります。

本特セッションでは、ALMA計画の最新の進捗状況を報告するとともに、ALMAで実現される高感度、高空間分解能、サブミリ波という周波数の窓が、日本および世界の研究にどのような新展開をもたらすかを考えます。星・惑星系形成を取り上げた春季学会に引き続き、今回はALMAのもう一つのキーサイエンスである銀河の形成と進化を取り上げ、講演者のお一人として、カリフォルニア工科大学のNick Scoville教授をお迎えしたいと思います。前回に引き続き、総合討論の時間の一部を使って、ALMAの共同利用体制やそれに関連した日本の研究体制の議論も行いたいと考えます。幅広い分野の研究者の皆さんのご参加をお待ちしております。

プログラム：あいさつ (天文研連委員長、名古屋大 教授 池内 了)  
ALMA計画の現状と今後 (国立天文台 教授 川辺良平)  
ALMAで探る銀河の初期進化(カリフォルニア工科大 教授 N. Scoville)  
銀河形成の諸問題とALMA (筑波大 助教授 梅村雅之)  
総合討論-ALMAの共同利用について- (司会:国立天文台 教授 長谷川哲夫)

世話人：池内 了 (天文研連委員長、名大理)  
中井直正 (国立天文台)  
長谷川哲夫 (天文研連委員、国立天文台)  
<tetsuo.hasegawa@nao.ac.jp>ALMA計画準備室 電話 0422-34-3843

## ◎スーパー SINET 特別セッション

日時・場所：2001年10月6日(土) 14:00～15:30 B会場(イーグレひめじ地下1F)

概要：従来、各大学、各研究所間を結んでいた『学情ネット(SINET)』に比べ、数百倍の情報帯域幅(10Gbps)をもった『スーパー SINET』の試行が今度の一月から始まります。当は、仙台から大阪までの5旧帝大と6共同利用機関(国立天文台、宇宙研、高エネ研など)の間ですが、数年を経て徐々に拡がっていくものと思われれます。

既に、感度増大をねらった光結合型 VLBI や、研究所間に分散したデータベースの密結合など、いくつかの提案がなされていますが、現状の数百倍の帯域幅をもってすれば、まだまだいろいろな使い方が考えられると思います。

そのような天文学が発展するには、スーパー SINET が実のあるものになり、さらに発展していく必要があります。この需要と供給の関係が好循環となるよう、天文研究者の側から、もっとも提案していかねばなりません。そこで、年会の機会をとらえ、スーパー SINET を利用してどんな白い科学があり得るかを考える機会を持ちたいと思います。

プログラム：超高速学術情報ネットワークスーパー SINET の意義 (近田義広 / 国立天文台)  
スーパー SINET のネットワーク構成 (千葉庫三 / 国立天文台)  
既に計画されている利用案  
・光結合型 VLBI (川口則幸 / 国立天文台)  
・GRAPE ネット (牧野淳一郎 / 東京大)  
・宇宙研 - 国立天文台直結統合 DB (安田直樹 / 国立天文台)  
パネル討論「白い応用を考えよう」(飛び入り提案歓迎)

パネラー：長瀬文昭(宇宙研)、藤沢健太(国立天文台)、松田卓也(神戸大)、  
水本好彦(国立天文台)、近田義広(国立天文台)(進行役)

世話人：近田義広(国立天文台) CHIKADA.Yoshihiro@nao.ac.jp

◎天文教育フォーラム（共催：天文教育普及研究会、後援：兵庫県教育委員会、姫路市教育委員会）

テ ー マ : 『現代新天体発見事情』

日時・場所 : 2001年10月6日(土) 14:00～15:30 A会場(イーグレひめじ 3F:多目的ホール)

概 要 : 毎年春の年会では、その前の年に彗星・新星・超新星等を新発見したアマチュアに対して、天文学会から天体発見賞・天体発見功労賞の授与が行われています。その発見された天体には特異天体もあり、また、突発天体の確認などの協力を して、アマチュアの方々の学術への貢献も無視できません。これらの業績は、国内だけでなく、海外においても高い評価を得ることがまれではありません。そこで、今回のフォーラムでは、知る機会が少ないアマチュアの方の発見を目指す心意気や工夫、その生活の様子にスポットを当ててみたいと思います。

話題提供者 : 1. 山岡 均 (九州大学・理) 「新天体の発見と天体発見賞・発見功労賞」  
2. 中野 圭一 (兵庫県洲本市) 「天体発見業務の紹介」  
3. 櫻井 幸夫 (茨城県水戸市) 「未知の星を求めて」  
4. 高見沢今朝雄 (長野県南佐久郡) 「私のライフワーク=新天体の五目釣り」  
(10個の新天体との出会い)

参加費 : 天文教育フォーラムおよびジュニアセッションのみの参加者は、参加費(年会基本登録料)は不要です。年会受付で、その旨お伝えください。

実行委員 : 山縣朋彦(文部科学省)、吉川 真(宇宙科学研究所)  
浜根寿彦(ぐんま天文台)、西村昌能(京都府立洛東高等学校)

問い合わせ先: 山縣朋彦(yamagata@ioa.s.u-tokyo.ac.jp)

◎第3回ジュニアセッション

主催: 日本天文学会 共催: 天文教育普及研究会  
後援: 日本惑星協会、兵庫県教育委員会、姫路市教育委員会

日時・場所 : 2001年10月6日(土) 15:30～17:00 A会場(イーグレひめじ 3F:多目的ホール)  
(ポスター発表は年会会期中ポスター会場にて)

プログラム : 年会プログラム 47 ページに掲載

◎日本天文学会公開講演会(後援: 兵庫県教育委員会、姫路市教育委員会)

テ ー マ : 「宇宙生命を求めて」

日時・場所 : 2001年10月7日(日) 13:00～16:00(12:30開場) A会場(イーグレひめじ 3F:多目的ホール)

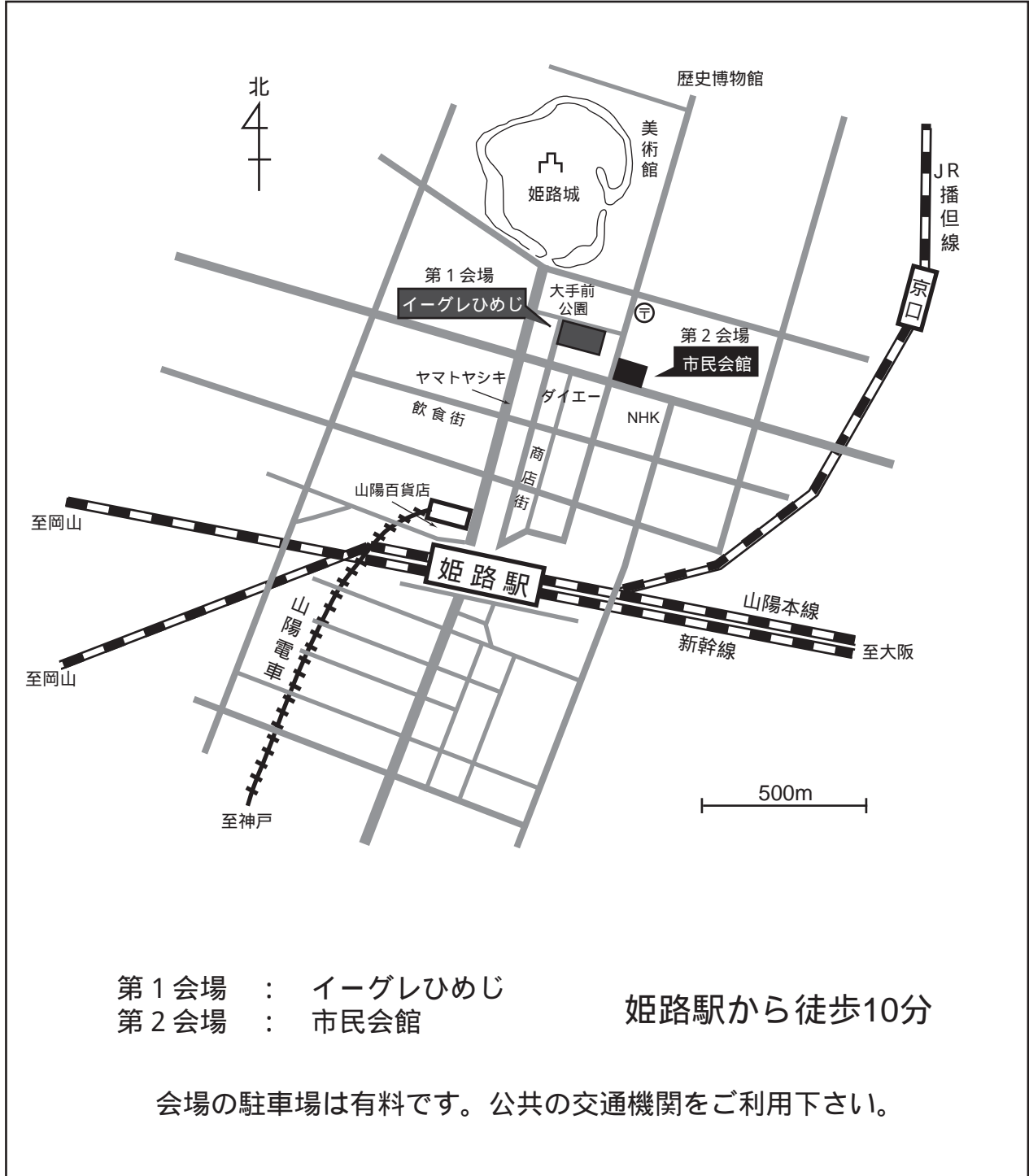
対 象 : 中学生以上・一

概 要 : 宇宙生命は多くの人々にとって極めて興味深い対象です。私たちが宇宙生命を求める理由の一つは、宇宙生命の一つである地球生命のことをもっとよく理解し、未来に向かって地球文明の進歩に役立つ貢献をしたいと考えているからでしょう。宇宙生命探査の試み、人類の営みと地球環境、宇宙空間における地球生命の振る舞い、等の紹介、議論を して私たち人類の行く末を一緒に考えてみましょう。

1. 講演 : 「人類はいつまで人間でいられるか」  
森本雅樹 (兵庫県立西はりま天文台公園長)
2. 対 談 : 「宇宙と生き物たち」  
平林 久 (宇宙科学研究所教授)  
黒谷明美 (宇宙科学研究所助教授)

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。  
ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。

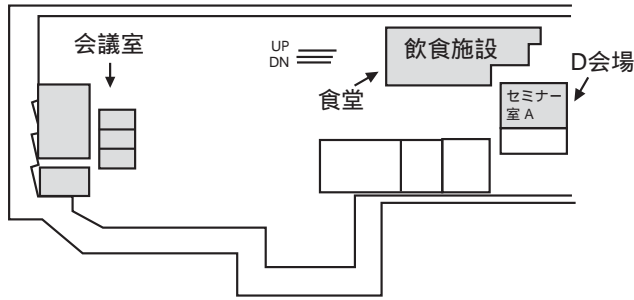
# 秋季年会会場のご案内



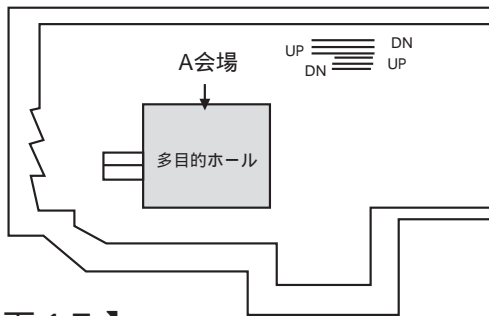
# 会場（イーグレひめじ・市民会館）案内図

## 第1会場 <イーグレひめじ>

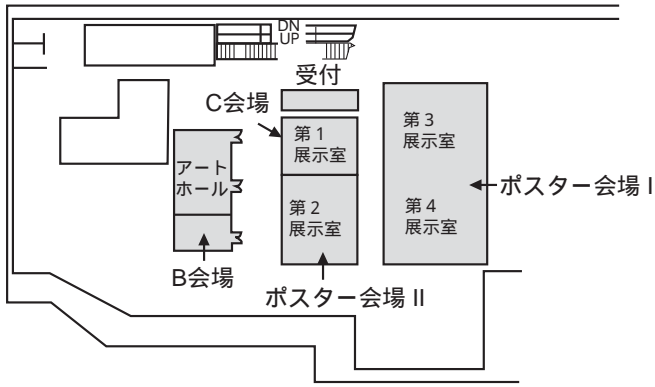
### 【4F（国際交流センター）】



### 【3F（男女共同参画推進センター）】



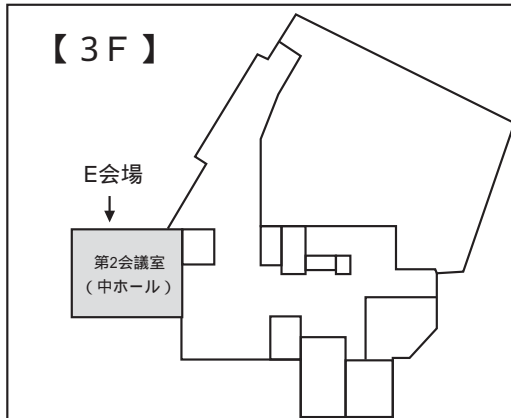
### 【地下1F】



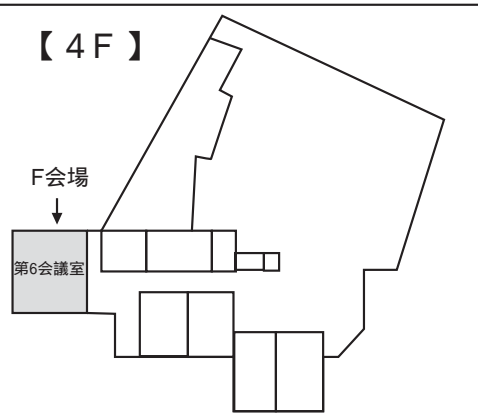
- 受付：イーグレひめじ（地下1F）  
 講演会場  
 A会場：イーグレひめじ（3F）  
 B会場：イーグレひめじ（地下1F）  
 C会場：イーグレひめじ（地下1F）  
 D会場：イーグレひめじ（4F）  
 E会場：市民会館（3F）  
 F会場：市民会館（4F）  
 ポスタ - 会場  
 I：イーグレひめじ（地下1F）  
 II：イーグレひめじ（地下1F）  
 展示コーナー：ポスタ - 会場I  
 総会会場：E会場  
 懇親会場：A会場  
 公開講演会：A会場  
 食堂：イーグレひめじ（1F、4F）

## 第2会場 <市民会館>

### 【3F】



### 【4F】



口頭セッション

10月4日(木)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
10:00	【銀河】 R01b - R03b	【星・惑星】 P01b, P03b, P04b	【恒星】 N01a	【飛翔観】 W01a	【銀河団】 T01b - T03b	【情報処理】 X01a
10:12	R04b - R06b	P05b - P07b	N02a	W02a	T04b - T06b	X03a
10:24	R07a	P08b - P10b	N03a	W03a	T07a	X04a
10:36	R08a	P11b - P13b	N04a	W04a	T08a	X06b - X08b
10:48	R09a	P14a	N06a	W05a	T09a	【天体力学】 K01a
11:00	R10a	P15a	N07a	W06a	T10a	K02a
11:12	R11a	P16a	N08a	W07a	T11a	K03a
11:24	R12a	P17a	N10b - N12b	W08a	T12a	K04a
11:36	R13a	P18a	N13a	W09a	T13a	K05a
11:48	R14a	P19a	N14a	W10b - W12b	T14a	K06b, K07b
12:00	昼休み					
13:00	ポスター					
14:00	【銀河】 R15a	【星・惑星】 P20a	【恒星】 N15a	【飛翔観】 W13a	【銀河団】 T15a	【ブラックホール】 B01a
14:12	R16a	P21a	N16a	W14a	T16a	B02a
14:24	R17a	P22a	N17a	W15b - W17b	T17a	B03a
14:36	R18a	P23a	N18a	W18b - W20b	T18a	B04a
14:48	R19a	P24a	N19a	W21a	T19a	B05a
15:00	R20a	P25a	N20a	W22a	T20a	B06a
15:12	R21a	P26a	N21b - N23b	W23a	T21a	B07a
15:24	R22a	P27a	N24b, N27b, N28b	W24a	T22a	B08a
15:36	R23a	P28a	N31b - N33b	W25a	T23b - T25b	B09a
15:48	R24a	P29a	N34a	W26a	【地上観】 V01a	B10a
16:00	R25a	P32a	N35a	W27a	V02a	B11a
16:12	R26a	P33a	N36a	W28a	V03a	B12a
16:24	R27a	P34a	N37a	W29a	V04a	B13b - B15b
16:36	R28b - R30b	P35a	N38a	W30a	V05b - V07b	
16:48	R31b	P36a		W31a	V08b - V10b	
17:00	ALMA特別セッション (A会場)					
19:00	ALMA特別セッション (A会場)					



口頭セッション 10月5日(金)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
09:24	【銀河】 R38b - R40b	【星・惑星】 P37a	【恒星】 N39a	【飛翔観】 W32a	【地上観】 V13a	【太陽】 M01b - M03b
09:36	R41b - R43b	P38a	N40a	W33a	V14a	M04a
09:48	R44b - R46b	P39a	N41b - N43b	W34a	V15a	M05a
10:00	R50a	P40a	N44a	W35b - W37b	V17a	M06a
10:12	R51a	【星間】 Q01a	N45a	W38b - W40b	V18a	M07a
10:24	R52a	Q02a	N46a	W41a	V19a	M08a
10:36	R53a	Q03a	N47a	W42a	V23a	M09a
10:48	R54a	Q05a	N48a	【突発天体】 A01a	V24b - V26b	M10a
11:00	R55a	Q06a	N49a	A02a	V27a	M11a
11:12	R56a	Q07b - Q09b	N50a	A03a	V28b - V30b	M12a
11:24	R57a	Q10b - Q12b	N51a	A04a	V31b - V33b	M13a
11:36	R58a	Q13b - Q15b	N52b - N54b	A05a	V34b - V36b	M14a
11:48	R59a	Q16b, Q17b	N55b - N57b	A06b, A07b		M15b - M17b
12:00	R60a		N59b			M18b
13:00	昼休み					
	ポスター					
14:00	【銀河核】 S01a	【星間】 Q18a	【太陽系】 L01a	【突発天体】 A08a	【地上観】 V38a	【太陽】 M19a
14:12	S02a	Q19a	L02a	A09a	V39a	M20a
14:24	S04a	Q20a	L03a	A10a	V40a	M21a
14:36	S05a	Q21a	L04a	A11a	V41a	M22a
14:48	S06a	Q22a	L05a	A12a	V42b - V44b	M23a
15:00	S07a	Q23a	L06a	A13a	V45b - V47b	M24a
15:12	S08a	Q24a	L07a	A14a	V48b - V50b	M25a
15:24	S09a	Q25a	L08a	A15a	V51a	M27a
15:36	S10a	Q27a	L09a	A16a	V52a	M28a
15:48	S11a	Q28a	L10a	A17a	V53a	M29a
16:00	S12b - S14b	Q29a	L11b - L13b	A18a	V54a	M30a
16:12		Q30a	L14b	A19b, A20b	V55b - V57b	
16:30	総会 (E会場)					
18:00	懇親会 (A会場)					
18:30	懇親会 (A会場)					

口頭セッション 10月6日(土)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
09:24	【銀河核】 S16a	【星間】 Q31a	【宇宙論】 U01a	【突発天体】 A21a	【地上観】 V58a	【太陽】 M31a
09:36	S17a	Q32a	U03a	A22a	V59a	M32a
09:48	S19a	Q33a	U04a	A23a	V60a	M33a
10:00	S20a	Q34a	U05a	A24a	V61a	M34a
10:12	S21a	Q35a	U06a	A25b - A27b	V62a	M35a
10:24	S22a	Q36a	U07a	A28a	V64a	M36a
10:36	S23a	Q37a	U08a	A29a	V65b - V67b	M37a
10:48	S24a	【教育】 Y01a	U09a	A30a	V68a	M38a
11:00	S25a	Y02a	U10a	A31a	V70a	M39a
11:12	S26a	Y03a	U12b - U14b	A32a	V71a	M40a
11:24	S27b - S29b	Y07b - Y09b	U15a	A33a		M41a
11:36	S30b	Y10b - Y12b	U16a			
11:48			U17a			
12:00	昼休み					
13:00	ポスター					
14:00	天文教育フォーラム (A会場)			スーパーSINET (B会場)		
15:30	ジュニアセッション (A会場)					
17:00						

<会場 I>

<p>【突発天体・突発現象】 (7)                      A06b, A07b, A19b, A20b, A25b, A26b,                      A27b</p> <p>【超巨大ブラックホールの形成】 (3)                      B13b, B14b, B15b</p> <p>【天体力学】 (2)                      K06b, K07b</p> <p>【太陽系】 (7)                      L11b, L12b, L13b, L14b, L15c, L16c,                      L17c</p> <p>【太陽】 (9)                      M01b, M02b, M03b, M15b, M16b, M17b,                      M18b, M26c, M42c</p> <p>【恒星】 (30)                      N05c, N09c, N10b, N11b, N12b, N21b,                      N22b, N23b, N24b, N25c, N26c, N27b,                      N28b, N29c, N30c, N31b, N32b, N33b,                      N41b, N42b, N43b, N52b, N53b, N54b,                      N55b, N56b, N57b, N58c, N59b, N60c</p> <p>【星・惑星形成】 (15)                      P01b, P02c, P03b, P04b, P05b, P06b,                      P07b, P08b, P09b, P10b, P11b, P12b,                      P13b, P30c, P31c</p>	<p>【星間現象】 (13)                      Q04c, Q07b, Q08b, Q09b, Q10b, Q11b,                      Q12b, Q13b, Q14b, Q15b, Q16b, Q17b,                      Q26c</p> <p>【銀河】 (28)                      R01b, R02b, R03b, R04b, R05b, R06b,                      R28b, R29b, R30b, R31b, R32c, R33c,                      R34c, R35c, R36c, R37c, R38b, R39b,                      R40b, R41b, R42b, R43b, R44b, R45b,                      R46b, R47c, R48c, R49c</p> <p>【活動銀河核】 (10)                      S03c, S12b, S13b, S14b, S15c, S18c,                      S27b, S28b, S29b, S30b</p> <p>【銀河団】 (10)                      T01b, T02b, T03b, T04b, T05b, T06b,                      T23b, T24b, T25b, T26c</p> <p>【宇宙論】 (5)                      U02c, U11c, U12b, U13b, U14b</p> <p>【天文教育・その他】 (9)                      Y04c, Y05c, Y06c, Y07b, Y08b, Y09b,                      Y10b, Y11b, Y12b</p> <p>【ジュニアセッション】</p> <p>【展示コーナー】</p>
---	--

<会場 II>

<p>【地上観測機器】 (43)                      V05b, V06b, V07b, V08b, V09b, V10b,                      V11c, V12c, V16c, V20c, V21c, V22c,                      V24b, V25b, V26b, V28b, V29b, V30b,                      V31b, V32b, V33b, V34b, V35b, V36b,                      V37c, V42b, V43b, V44b, V45b, V46b,                      V47b, V48b, V49b, V50b, V55b, V56b,                      V57b, V63c, V65b, V66b, V67b, V69c,                      V72c</p>	<p>【飛翔体観測機器】 (15)                      W10b, W11b, W12b, W15b, W16b, W17b,                      W18b, W19b, W20b, W35b, W36b, W37b,                      W38b, W39b, W40b</p> <p>【情報処理】 (8)                      X02c, X05c, X06b, X07b, X08b, X09c,                      X10c, X11c</p>
---	--